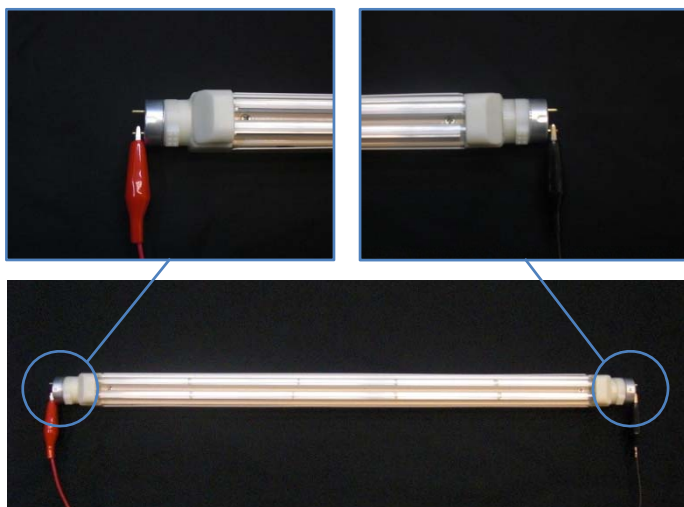
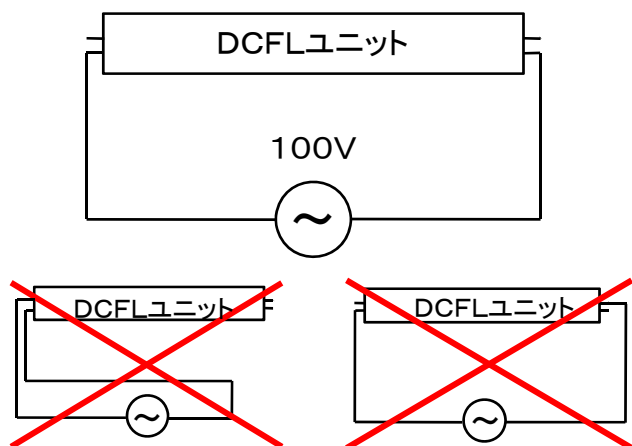


ECORSA—FD20W/40W—001取扱説明書

本製品は、両側一対のピンに100Vを印加することにより点灯します。片側のみ、もしくは互い違いのピンに印加しないようご注意ください。故障の原因となります。

基本回路



※グロースタート式の場合、グローランプを外すことで点灯させることができます。
※安定器、インバータ等はすべて不要です。(Fig. 1～3参照)

一般蛍光灯の点灯方式(参考資料)

○スタータ式点灯回路(Fig. 1)

スタータ式には以下の3種類があります。

1. グロースタート式(点灯管式)

この方式は、あらかじめフィラメントを十分予熱してから放電を行わせるものです。スイッチを入れて電圧を加えると、点灯管の接点が閉じ、短絡電流が流れフィラメントが予熱されます。フィラメントが加熱されたところで接点が切れると、安定器内のコイルに高電圧が発生し、これがきっかけとなって蛍光ランプが点灯します。点灯後は、ランプ自体の放電により電子が放出され続けるため、グローランプは動作しません。

2. マニュアルスタート式

グロースタートの代わりに始動用のスイッチを接続します。始動スイッチを押してフィラメントを予熱し、スイッチを放す際に安定器に電圧が発生して放電が開始されます。

3. 電子スタート式

グロースタートの代わりに電子点灯管、もしくは電子点灯回路を使用したもので、ほぼ瞬時(約0.6～1秒)に点灯します。また、一般の点灯管に比べて長寿命という特徴があります。

○ラピッドスタート式点灯回路(Fig. 2)

その名の通りスイッチを入れると速やかに点灯するように改善された蛍光ランプです。点灯管を使用せず、始動補助導体を持つラピッドスタート形ランプと、磁気漏れ変圧器形安定器の組み合わせによって点灯します。始動補助のための近接導体は器具が代用する場合があります。

○インバータ式(電子式)点灯回路(Fig. 3)

インバータ(電子安定器)により50または60Hzの商用電源をいったん直流に変え、さらに20～50kHzの高周波に変換してランプを点灯させます。高周波点灯により毎秒の発光回数が増えるため、従来の商用電源の周波数による点灯に比べてワット数あたりの明るさが向上します。

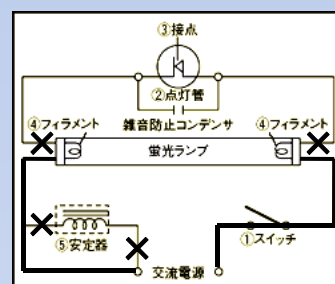


Fig. 1 スタータ式点灯回路

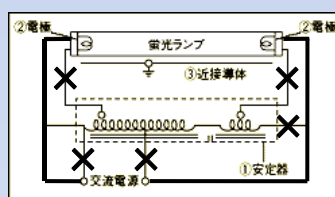


Fig. 2 ラピッド式点灯回路

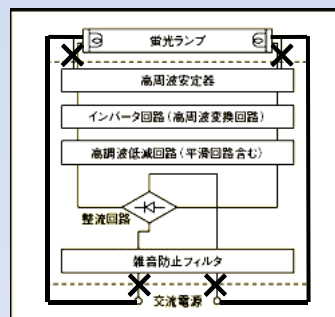


Fig. 3 インバータ式点灯回路

エコルサ株式会社

〒151-0061 東京都渋谷区初台1-46-3 シモトビルB1F

TEL: 03-3379-8563 FAX: 03-5358-4701

World Property
ecorsa